

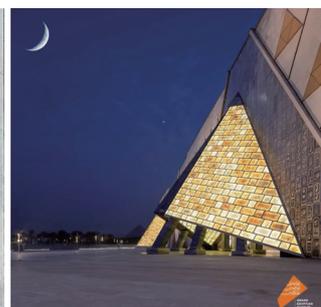
大エジプト博物館のいま

ファラオの至宝をまもる 2023

2023年8月5日(土)
13:30-16:45 (開場: 12:30)



- ▲ 会場：国立民族学博物館 みんなくインテリジェントホール（講堂）
- ▲ 定員：会場 350名（先着順） オンライン 300名（先着順） ▲ 参加無料・要申込（裏面参照）
- ▲ 言語：日本語（英語・アラビア語からの逐次通訳あり）



開催趣旨

21世紀を迎え、新たな国家のあり方、新たな世界のあり方を構築することが求められている現在、文化を構築する装置としての博物館の役割はますます高まっています。国立民族学博物館は、1994年から独立行政法人国際協力機構（JICA）の事業委託を受けて「博物館技術コース」、「博物館学集中コース」、「博物館学コース」を実施し、2015年度からは、「博物館とコミュニティ開発」とコースを改組・発展させ、博物館が地域社会に果たす役割について深く学ぶことができる研修を提供してきました。約30年にわたる実施期間を通じて、エジプトからは、これまで総勢19名、中でも2006年から日本がJICAを通じて建設を支援してきた大エジプト博物館からは、15名の職員が博物館学関連の研修に参加してきました。

本シンポジウムでは、大エジプト博物館からアーテフ・ムフターフ氏、アイーサ・ジダン氏を招聘し、新しく建設されている博物館の開館に向けた準備状況や、その現状と博物館の魅力を語ります。また、日本が大エジプト博物館に対しておこなってきた支援、大エジプト博物館のメンバーも参加した国立民族学博物館が実施している研修コースの成果をお話します。そして、大エジプト博物館に期待されている社会的な役割や未来について考えます。

プログラム

- 総司会：鈴木彰（大エジプト博物館 第一館長補）
- 13:30-13:35 開会挨拶 吉田憲司（国立民族学博物館 館長）
- 13:35-13:40 開会挨拶 木村出（JICA 関西 所長）
- 13:40-14:10 基調講演 「大エジプト博物館のいま」
アーテフ・ムフターフ（大エジプト博物館プロジェクトおよび周辺地域 総責任者）
- 14:10-14:30 講演 「大エジプト博物館の開館への道のり」
アイーサ・ジダン（大エジプト博物館 保存修復執行部門長）
- 14:30-14:50 講演 「エジプトにおける博物館の役割の変化」（事前収録）
モーメン・オスマン（エジプト観光考古省 博物館セクター長）
- 14:50-15:05 休憩
- 15:05-15:25 講演 「大エジプト博物館保存修復センターへの日本の支援」
松田泰典（東洋美術学校 教育研究スーパーバイザー）
- 15:25-15:45 講演 「民博によるエジプトへの支援：博物館とコミュニティ開発」
末森薫（国立民族学博物館 准教授）
- 15:45-15:50 休憩
- 15:50-16:40 パネルトーク 「大エジプト博物館の未来」
司会：日高真吾（文化財保存修復学会 副理事長 / 国立民族学博物館 教授）
パネリスト：アーテフ・ムフターフ、アイーサ・ジダン、松田泰典、末森薫、他
- 16:40-16:45 閉会挨拶 園田直子（国立民族学博物館 教授）

写真：GEM 提供

▲ 申込方法：下記 URL または QR コードにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

▲ 申込期間：2023年6月30日（金）10:00 - 7月27日（木）17:00

https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/44476

